宇部	工業高等	事門学村	 交	開講年度	平/	 成30年度	 (2018年度)			工学特		
科目基礎												
科目番号		0019						科目区分		 修		
授業形態		講義						単位数		専門 / 必修学能単位: 2		
開設学科						対象学年			専1			
開設期	後期					7 3 2 3 1	週時間数 後期:4					
	<sup>技利</sup> (科書/教材								1277117			
担当教員	.473	——————————————————————————————————————	<b>女介 二</b> :	異 丞明 二分	芒21. /1	(合 蕃 自岱	勝弥,福地 賢治					
到達目標	<del></del>	ш ~	3/1,—/	羊乃吻,二谷	/) ハ(ハ,′)	心后 羔, 与衣	份外,往他 其心					
これからの 合・複合し ) の講師を 点や課題し とができる	の技術者は した知識や を招き、研 こついて理 るこも到達	技術が求ま 究や最近の 解でき、説	られて 話題に 明でき	いる。工学特 ついて講義を	詩論Ⅱで ご受け、	では学内外か 自分の専門	ら各分野(機械エ  分野だけでなく他	_学、電: !分野に	気工学、制御 ついても、抗	情報工学 も術の現場	野だけではなく、他分野と融 学、物質工学、その他の分野 代や展望および実務上の問題 現存の特許について調べるこ	
ルーブリ	ノック	75	相的が				  達レベルの目安	してルの目安 最低限の到達レベルの目		 レの目安		
							(可)			木到達し、くしの日女		
評価項目1			よび実務上の問題点や課 について理解し説明でき レポートの課題について 広い情報を収集し、まと ることができる。			がの現状や展望 引上の問題点や課 理解し説明でき の課題について を収集し、まと できる。	他分野の技術の現状や展望 および実務上の問題点や課 題について理解し説明でき 、レポートの課題をまとめ ることができる。		題点や課 说明でき	他分野の技術の現状や展望 および実務上の問題点や課 題について理解できない。		
評価項目2			こどが理 行技術	どが理解でき、他分野の「などが理解で			て意義や必要性 でき、自分の専 行技術等につい とができる。	特許について意義や必要性などが理解でき、既存の特許について調べることができる。		死存の特	特許について意義や必要性が理解できない。	
学科の至	]]達目標耳	頁目との	関係									
教育方法	装等											
概要		第3学類学内外につい	から各	分野(機械エ を行う. また	·学,電 :,特許	三気工学,制 Fやその他情	御情報工学,物質 勢に応じたテーマ	江学 <i>, -</i> で講義 <sup>、</sup>	その他の分野 を行う.	の講師	「を招き,研究や最近の話題	
について講義を行う。また、特許やその他情勢に応じたテーマで講義を行う。 授業の進め方・方法 講義毎に指示されるレポートについては、提出締切を守り必ず提出するようにすること。また、講義を受講していないのに、レポートの課題だけを後で聞いてレポートを提出することは認められないので注意すること。									た、講義を受講していない ること。			
注意点		到達目	標①:	レポート(各	分野の	)技術等)に	より評価する。(		てレボートを 	提出する	なようにして下さい。	
322/01/2		週	授業	 内容				週ご				
専攻科:授業概要 (一田准教授) 「 (一田准教授) 「 内容(4時間:2コ) ある制御対象につい 用いて厳密にシステムと 非線形システムと テムと非線形シス				「非線用 コマ連絡 ついて制 ステムを こなるこ ステムの	線形システムの制御法について」			の専門分野が	だけでなく び実務上の る。講義	く他分野についても、技術の の問題点や課題について理解 毎に指示された内容のレボー		
後期	3rdQ	2週	い内容に	〕 『(4時間:2] 『や生物に学ん 『ンピューティ	続) 吹な情報処理 支術(ニュー 計算など)に	ティング技術についた。 の方法であるソフラルネットワーク ついて、ニューラ 説明する.	7   " 7					
		3週	情報 内容 技術	収集について (4時間:2	続) 祭に行う、英	Webサイトからの 語表記Webサイト	"					
		4週	つ内モがはコロ	ハて」 『(4時間 : 2〕 『とモノの境界 『散している系 』のまわりに多	続) 額という. ま コイドという 生している.	学の基礎と応用に た媒体中に微粒子 ・界面やコロイト はじめに、界面や ように社会に生か	<u>z</u>					
		5週	(内水、一置識が	(野本助教) 「水処理について」 内容(4時間:2コマ連続) 水処理は、機械、電気、制御、化学、生物、経済性と、一つの装置の中で様々な知識が必要とされる分野の一つである。また、どの様な作業場にも必ず水処理装置は存在する。水処理装置の設計を例に、各分野の知識が融合し、一つの「物」ができあがることを見ながら、異分野の知識の必要性を学ぶ。				)   "				

		6週	(外部講師) 「 内容(4時間: 原子力開発の歴 の原因、必要性を の操業,建設状 について考える	原子力教育について」 2コマ連続) 生史,原子力発電所のしくみ,福島事故 策等を概観し,原子力の特質,安全の 理解する.また,六ヶ所サイクル施設 況を概観し,放射性廃棄物の最終処分	n .						
		7週	(外部講師) 「 内容(4時間: 特許制度の目的 ける特許権の重 も最先端技術で があることを理	特許制度の概要」 2コマ連続) 2ロマ連続) 1夏び特許要件を解説し、企業活動にお 1夏要性を理解する、また、発明は必ずし である必要はなく、身近にも発明のネタ 1解する.	特許について意義や必要性などが理解でき、説明できる。また、既存の特許について調べることができる。 講義で指示された内容のレポートを作成できる。						
		8週	専攻科:まとめ	)、授業評価アンケート							
		9週									
		10週									
		11週									
	4thQ	12週									
	401Q	13週									
		14週									
		15週									
		16週									
モデルコ	モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標										
分類 分野 学習内容				学習内容の到達目標	到達レベル 授業週						
評価割合											
				レポート	合計						
総合評価割合				100	100						
知識の基本的な理解				50	50						
汎用的技能				50	50						